



発行責任者
 勝見 忍
 山形市薬師町2-6-15
 TEL023 (615) 2172
 FAX023 (615) 2173
 URL: http://www.yamagataroren.com/
 Email: yamagataroren@yahoo.co.jp

総選挙
結果

自公2/3維持、民主上積み、第3極後退・不振、共産躍進

国民は安倍政権に白紙委任していない!

「暴走」とめる労働者・国民の運動が一層重要に

12月14日
 投票された第47回衆議院議員総選挙で、自民党は公示前より4議席減らし291議席、一方公明党は31から35へ4議席増やした結果、与党としては326議席の維持にとどまり、引き続き3分の2を占めることとなりました。民主党は公示前の62から73へ上積みしました。維新の党は1議席の41、次世代の党は19議席から2議席に減らすなど、「第3極」勢力は軒並み不振・後退となりました。また、共産党は公示前の8議席の2倍を超える21議席を獲得し大きく躍進しました。

昨日投票された第47回衆議院議員選挙で、自民党は追加公認を含め291議席、公明党を含む与党で326議席と、引き続き3分の2の議席を維持しました。しかし、これをもつて安倍政権の政策が信任を受けたとは到底いえない。自民党の比例得票数は176万票であり、前回2012年より約100万票増やし得票率は33.1%

となったが、絶対得票率は17.4%であり、6人に1人の支持に過ぎない。各種世論調査でも、消費税増税や集団的自衛権、原発再稼働など個別課題では反対が6〜7割に達している。看板政策のアベノミクスについても、最近では成功していないという意見が多数を占めるようになってきている。

全労連・井上久 事務局長の談話

にもかかわらず、与党が3分の2の議席を維持したのは、突然の総選挙で、しかも、消費税率10%の1年半先送りという争点のわかりにくさにくわえて、小選挙区制の弊害を強く指摘せねばならない。実際、自民党は小選挙区で今回、48%の得票率で76%の議席を獲得している。また、政権選択選挙というマスコミ報道もあいまって、多くの有権者、とくに若者や無

党派層が投票に躊躇したためでもある。投票率は52.7%に止まり、前回からさらに6.7ポイントも低下して、戦後最低を更新した。日本の民主主義という観点からも由々しき事態である。自民党との対抗軸を打ち出せなかった「第3極」といわれる勢力が後退し、ブルームが過ぎ去ったこと、自民対決を掲げた共産党が政権批判の一定の受け皿となつて議席を大きく伸ばし2.6倍化したこと、オール沖縄の候補が全員勝利し沖縄の小選挙区で自民党の議席がなくなつたことなどは、部分的ではあるが、今後にいける貴重な教訓である。つまり、今回の総選挙で問われたのは、安倍「暴走」政治に対抗する姿勢にほかならない。なかば自民党の補完勢力となつた第3極の離合集散などの混乱や共産党の躍進をわけた分水嶺もそこにある。また、安倍「暴走」政治への批判がひろがっているもとで、沖縄の選挙結果からは、一点共通をさらに発展させ、切実な要求と地域に強く根ざせば地殻変動的な変化が起り得ることが読み取れる。

全労連は、消費税率引き上げの中止・撤回、集団的自衛権の閣議決定など戦争する国づくり反対、残業代ゼロなど雇用破壊の中止と賃上げ・雇用の安定、社会保障や中小企業・農業支援の拡充、震災復興と原発再稼働反対などの切実な要求を掲げ、「選挙に行つて安倍暴走政治にノーの審判を」を合言葉に、要求選挙を展開してきた。その経験からも労働者・国民の切実な願いが安倍政権を追い詰めており、激しいせめぎあいとなつているが実感される。

しかし、総選挙で安倍政権が3分の2の議席を確保したもつて、「暴走」政治が今後いつそう乱暴に加速されることが懸念される。また、明文改憲の策動が強まることも確実である。暮らして日本社会の未来が脅かされる重大な事態である。全労連は切実な要求を基礎に各分野で国民的な共同をさらに徹底して強化していく決意である。そうした活動を通して、平和を基礎に雇用の安定と社会保障拡充を中心とした社会への転換の合意づくりを強める。賃金底上げによる内需活性化などとともに、来春のいつせいで地方選挙を契機にしつ

余火吹

つ、住民本位の地方自治確立のために力を尽くしていく。
 2014年12月15日
 全国労働組合総連合
 事務局長 井上久

全労連・県労連と協力共同の関係にある日本共産党が今次の選挙で大幅に議席を伸ばし、議案提案権まで獲得したことを喜ぶたい。しかし唯喜んでだけはいられない。

安倍総理の「アベノミクス」(浜矩子氏は「おんがく新聞」で「アホノミクス」と揶揄)が破綻する前に、国会を解散させたのだ。一気に憲法改悪に進むことは目に見えている。

安倍自身、選挙後の記者会見で、憲法改正を目指すことを明言している。衆議院では改憲派がゆうに2/3を越えた。これは重大なことだ。憲法改正の発議権を自民党が有していることを意味する。

その参議院の選挙が再来年のたぶん7月に行われる。それに向けて今から準備して、自民党を追い詰めよう。

アホノミクスはあのパブル経済と同様破綻は明白なのだ。

(要見)

